

第139回 中小企業景況調査報告書(概要版)

平成 26 年 1 月～3 月実施

平成 26 年 4 月～ 6 月予測

福岡県商工会連合会

この調査は、中小企業の景気動向について、その実態と要因を四半期ごとに分析し、業種間の比較によって差異分析を行い、その分析結果に基づき、今後の経営活動の健全な発展を図るために業種別の景況情報を提供する。

1. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接聞き取り調査
2. 調査時点 平成 26 年 3 月 1 日 (土)
3. 調査対象時期 平成 26 年 1 月～3 月
4. 調査対象企業 須恵町・筑紫野市・糸島市・筑前町・田主丸町・柳川市・水巻町・みやこ町・飯塚市・大任町
5. 回答企業 149 企業 (有効回答率 99.3%)

製造業		建設業		小売業		サービス業	
企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比
29	19.5%	21	14.1%	41	27.5%	58	38.9%

☑ 県下産業全体 (業況:売上額 D.I)

➡ 消費増税前の駆け込み需要の影響で、全業種で大幅に改善傾向

期間	製造業		建設業		小売業		サービス業	
平成 25 年 1 月～3 月		△50.0		△10.0		△72.5		△24.5
平成 25 年 4 月～6 月		△57.1		0.0		△41.5		△19.6
平成 25 年 7 月～9 月		△13.8		0.0		△44.0		△12.1
平成 25 年 10 月～12 月		△41.4		△19.1		△46.3		△23.2
平成 26 年 1 月～3 月		△7.2		0.0		△29.2		△17.2

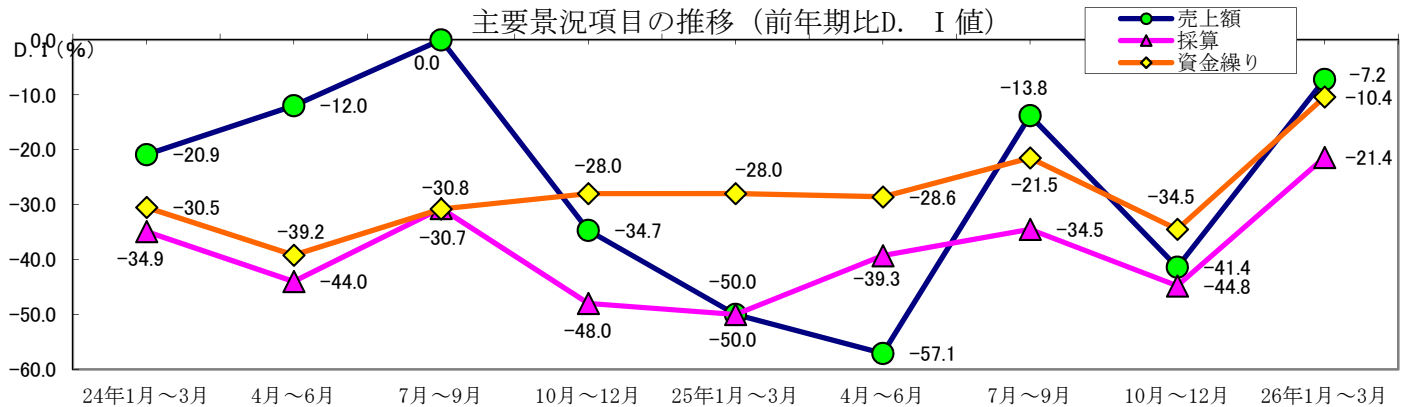
< 天気図の見方 >

D. I 値	100.0～30.1	30.0～10.1	10.0～△10	△10.1～△30	△30.1～△100
表示	 【快晴】 +30.1 以上	 【晴れ】 +10.1 ～30.0	 【薄曇り】 △10.0 ～△10.0	 【曇り】 △30.0 ～△10.0	 【雨】 △30.1 ～△100

今期 (平成 26 年 1 月～3 月) の県下産業全体 (製造業・建設業・小売業・サービス業) の景況は次の通りである。前年同期 (平成 25 年 1 月～3 月) の D. I 値と比較すると売上額 (建設業は完成工事額) は 24.0 ポイントの改善、採算は 9.6 ポイントの改善、資金繰りは 10.6 ポイントの改善となっている。また、前回調査時 (平成 25 年 10 月～12 月) の D. I 値と比較すると売上額は 16.4 ポイントの改善、採算は 6.0 ポイントの改善、資金繰りは 9.1 ポイントの改善となっている。前年同期及び前回調査時と比較して全ての D. I 値で改善となっている。

☑ 製造業 (有効回答数 29 企業)

➡ 消費増税前の駆け込み需要により好調、大幅な改善傾向



<調査企業が感じている景気判断コメント>

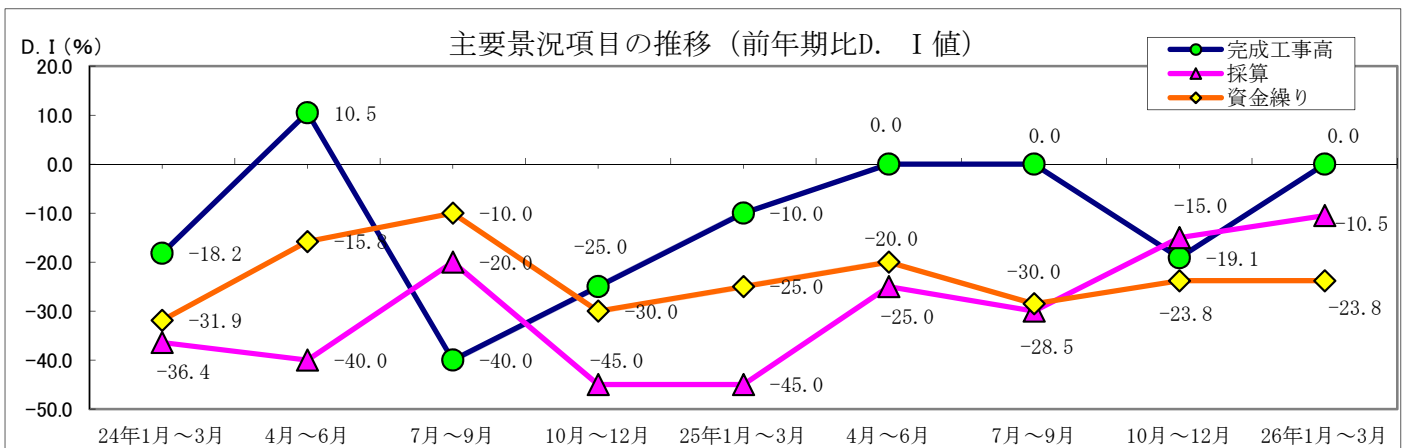
- ・消費増税アップ前の駆け込みがあります。来期は少し仕事の量が減少すると思います。(生産用部品等製造業)
- ・3ヵ月先まで売上の見通しがたっている。今後は、東京オリンピックの影響で、東京での案件が増加する見通しである。(建築用金属製品製造業)
- ・今後は消費税引上げ後の価格上昇による需要の減少はあるが、昨年の景気回復の中で工夫をすることで、顧客の取込は期待できる。(生菓子製造業)

<経営上の問題点>

前期	今期
第1位 生産設備の不足・老朽化 32.1%	第1位 生産設備の不足・老朽化 25.0% (-7.1)
第2位 需要の停滞 17.9%	第2位 原材料価格の上昇 21.4% (+10.7)
第2位 製品単価の低下、上昇難 17.9%	第3位 製品単価の低下、上昇難 17.9% (±0.0)

☑ 建設業 (有効回答数 21 企業)

➡ 引き続き好調であるが、人材不足・材料高騰に苦しめられている状況



<調査企業が感じている景気判断コメント>

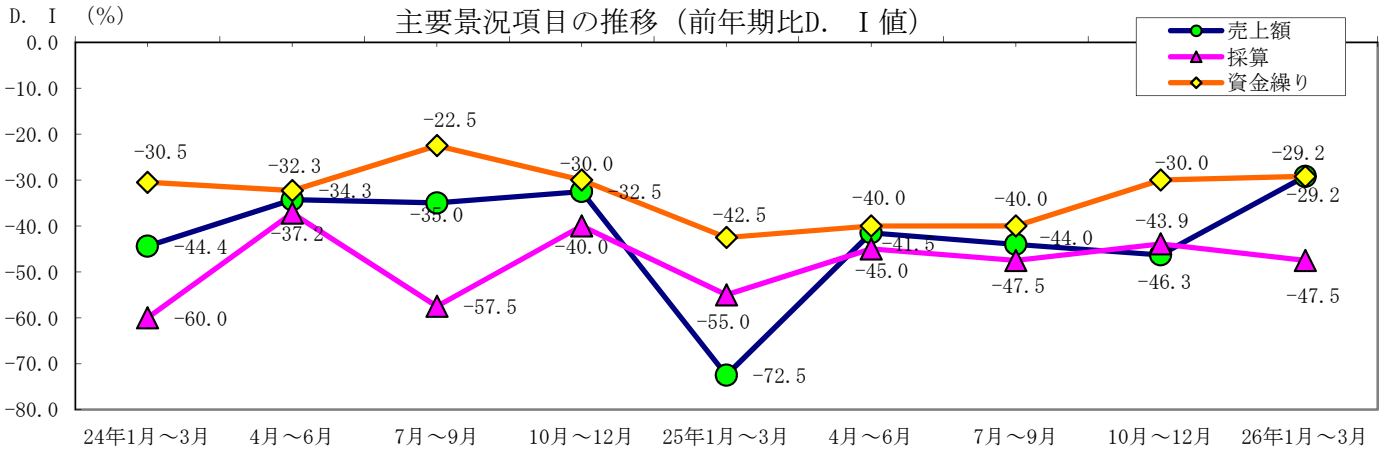
- ・従業員の確保の難しさを感じる。熟練技術者も少しでも、良い条件で働こうとしているので、選ばれてしまう立場になっている。福利厚生等、安定、安心だけでは難しい。(一般土木建築工事業)
- ・消費増税を前に、大手が材料の買い占めを行った結果、材料価格が1.3～1.4倍に上昇し、入手難が引き続いている状況。消費税の経過措置受注残が4月にずれ込んだ場合、負担せざるを得ない状況。(木造建築工事業)
- ・引き合いは多いが、人材不足のため受注できない状況が続いている。また、受注案件についても、材料高騰の影響で収益に結びついていない。(木造建築工事業)

<経営上の問題点>

前期	今期
第1位 請負単価の低下、上昇難 22.2%	第1位 材料価格の上昇 31.6% (+14.9)
第1位 材料価格の上昇 16.7%	第2位 請負単価の低下、上昇難 21.1% (-1.1)
第3位 事業資金の借り入れ難 11.1%	第3位 熟練技術者の確保難 15.8% (+4.7)

☑ 小売業 (有効回答数 41 企業)

➡ **消費増税前の駆け込み需要により売上が改善するも、来期への不安感が多数あり**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

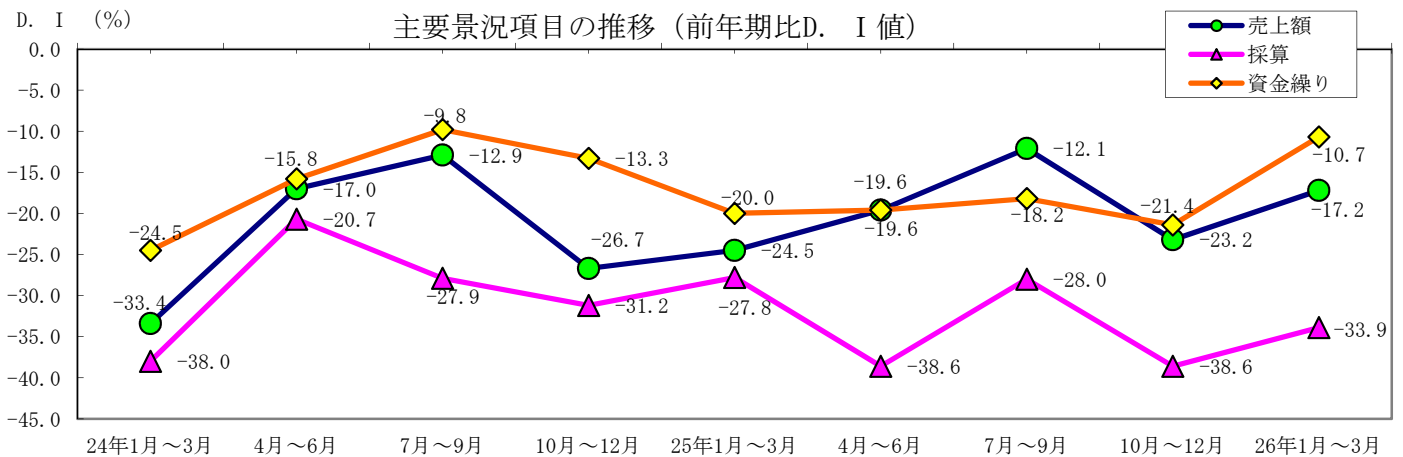
- ・大型量販売出店の影響も落ち着いてきた。徐々にではあるが売上也回復しつつある。(各種食料品小売業)
- ・平成26年4月より消費税8%で高額商品の購入がどう影響するのか心配である。(各種食料品小売業)
- ・消費税の増税により価格を上げた場合でも、客離れがおこりにくい独自性をもった商売の方法を考えたい。(野菜小売業)

<経営上の問題点>

前期		今期	
第1位	大型店・中型店進出による競争の激化 30.8%	第1位	大型店・中型店進出による競争の激化 33.3% (+2.5)
第2位	購買力の他地域への流出 15.4%	第2位	販売単価の低下、上昇難 15.4% (+5.1)
第3位	消費者ニーズの変化 10.3%	第3位	購買力の他地域への流出 12.8% (-2.6)

☑ サービス業 (有効回答数 58 企業)

➡ **独自の経営努力や消費増税前の駆け込み需要の影響により改善傾向**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・景気回復の影響で建設業を中心に来店客数が増加している。しかし、4月からの消費税増税の影響で来店客数が減少することが懸念される (酒場・ビアホール)
- ・業況は悪いが経営努力して毎年努力アップさせている。しかし、毎年賃金が増加している。また、経費も増加しているので利益率は悪化傾向にある。更なる売上増加、経費削減をする経営努力が必要である。(一般乗合旅客自動車運送業)
- ・ホームページやポスティングチラシによる効果はあるものの、まだ採算水準までには達していない。(他に分類されない洗濯・理容・美容・浴場業)

<経営上の問題点>

前期		今期	
第1位	需要の停滞 26.1%	第1位	需要の停滞 18.4% (-7.7)
第2位	利用者ニーズの変化 21.7%	第1位	利用者ニーズの変化 18.4% (-3.3)
第3位	店舗施設の狭隘・老朽化 13.0%	第3位	店舗施設の狭隘・老朽化 14.3% (-1.3)

